

サービス業

回答企業42企業

概況

～業況判断D I 値 やや改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比4.7ポイント上昇の▲2.4とやや改善となり、前回調査予想値(▲7.1)も上回る結果となった。項目別では、売上・受注で14.3ポイント上昇の11.9、売上数量は9.5ポイント上昇の9.5、利益でも9.5ポイント上昇の0.0と項目別でもやや改善となった。

宿泊業は紅葉時期に集客できたが、イベント少なく例年並みに推移。自動車関連の車検・整備等は大きな変化なく推移した。

分野別の状況

～総合的業況はやや改善で推移～

クリーニング業では衣替えの時期となり高単価の取扱いが増加したが、薬剤の値上がりから利益は不変となった。

理容・美容業に於いても12月は多忙となり業況好調に推移。薬剤等の原材料価格が高騰し利益は減少傾向。

自動車教習所は季節要因から生徒数減少となるが、二輪車免許の取得申込みが増加傾向との事であった。

来期の見通し

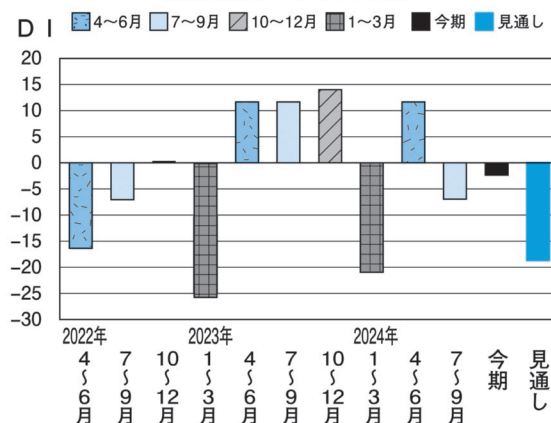
～業況判断D I 値 悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比16.7ポイント低下の▲19.1と悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で33.3ポイント低下の▲21.4、売上数量も30.9ポイント低下の▲21.4、利益でも19.1ポイント低下の▲19.1と悪化の見通しとなった。

季節要因から全体的には業況が落ち込む時期となる。異動や卒業シーズンを迎えるため、関連業種については売上増加を見込んでいる。

業況判断D I 値の推移



運輸業

回答企業10企業

概況

～業況判断D I 値 大幅改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比60.0ポイント上昇の20.0と大幅に改善し、前回調査予想値(30.0)は下回る結果となった。項目別では、売上・受注で80.0ポイント上昇の50.0、売上数量も70.0ポイント上昇の40.0、利益でも50.0ポイント上昇の20.0と各項目大幅改善となった。

貨物運輸はりんごの運搬が本格的に始まった事で売上は増加した。燃料費高騰は高止まりし、利益確保が課題となっている事から、継続した価格交渉を続けている。

分野別の状況

～総合的業況は大幅改善で推移～

旅客運送業では、紅葉シーズンの売上は好調に推移したが、降雪期の業況は低調に推移。総じて業況は例年並みを確保した。

建設資材運送に於いては、工事現場へのコンクリート運送の受注増加し売り上げ確保に繋がった。

総じて受注は見込まれているものの「燃料価格の高騰」が共通の課題となっており、利益確保が急務となっている。

来期の見通し

～業況判断D I 値 悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比30.0ポイント低下の▲10.0と悪化の見通しである。項目別では、売上・受注が60.0ポイント低下の▲10.0、売上数量も50.0ポイント低下の▲10.0、利益でも50.0ポイント低下の▲30.0と悪化となった。

前期同様りんご運送の受注見込め業況は安定。除雪受注している事業者は降雪量から期待大きい。但し、燃料費高騰が継続して見込まれることから、厳しい見通しとなった。

業況判断D I 値の推移

